



芸南トピックス



▲説明を熱心に聴く部員のみなさん



▲だるま制作を体験した部員のみなさん

SDGs活動・視察

J A女性部芸南地区本部役員7人は8月19日に、SDGsの取り組みでペットボトルキャップの回収を通じて世界の子どもたちにワクチンを届ける取り組みを行っている、(株)みどり商會にペットボトルキャップ174kgを持ち込み、工場を視察しました。

リサイクル対象外の汚れたキャップや飲料用キャップ以外がないか検品し、粉

砕したエコキャップを、リペレ化原料にした後にリサイクル製品に蘇り、リサイクル原料として売却した利益の一部をワクチンの購入費として利用し、世界へワクチンが届けられます。

視察後には、三原だるま工房でだるま作りを体験し、とても有意義な一日になりました。

秋冬野菜栽培講習会を開催しました



▲指導員の講習を聞く参加者



▲種まきのコツを教わる参加者

芸南地域営農経済センターでは、地域農業の振興、次世代の生産者の支援を目的として、初心者から参加できる野菜栽培講習会を開催しています。

今回は、秋冬野菜の苗づくりをテーマとして、8月24日(月)にJ A安芸津アグリセンター、8月25日(火)にJ A安浦店にて講習会を行い、2日間で約40人の参加がありました。

当日は実際に種まきを行い、サンプルを持ち帰っていただきました。

参加者からは、「種まきの穴の深さにコツがあるとは知らなかった」、「育苗に水のやり方が深く関わっている事が理解できてよかった」などと大変好評いただきました。

次回は2月ごろ、来年の春夏野菜に向けて講習を行う予定です。



水稲 10月

来年の土づくりについて

冬場の土づくりは来年度の稲の生育に大きく影響しますので、有機物補給、土壌改良剤の施用を行い耕起しておきましょう。

①有機物（10a当り）次のいずれかを1t施用しましょう。

- ・牛ふん堆肥 ・豊穰2号
- ・こだわり健肥

②土壌改良剤は水田の状態によって使い分けて施用しましょう。

・病気が多い水田では茎葉を強化し、病害耐性を高める「ケイ酸」を、根腐れが多い水田では根の発根強化に有効とされる「鉄分」を施用してください。

資材の使用例（※10a当り施用量）

ケイカル 200kg（10袋）
ケイ酸主成分。倒伏防止、いもち

病・ごま葉枯れ予防に。

ミネラルG 200kg（10袋）

ケイ酸・鉄分・石灰・苦土・マンガンとバランス良い改良資材。

ミネリッチ 100kg（5袋）

ミネラルGのケイ酸・苦土を高め、生育・耐病強化に。

土楽園 60kg（6袋）

高濃度でバランス良い改良資材。散布量を減らせる省力タイプ。

その他

石灰窒素 20kg（1袋）

年内に生ワラの上に散布。腐敗と微生物の増加を促進。

アグリ革命 2kg（1袋）

酵素資材のため、土壌環境の影響は受けません。うきワラの減少・ガスわきの発生を抑制させる。

水稲問 安浦店

TEL 0823-8412049

担当 桑原 伸明

野菜 10月

馬鈴しょ

病害虫防除・管理について

アブラムシの発生はウイルス病を媒介し、後の収穫に大きく影響します。また、急激な低温・長雨があると病気が多発します。早期の連続予防散布を心がけましょう。

病害虫防除例

10月上旬

【アブラムシ】

モベントフロアブル 4,000倍液

（収穫7日前まで、使用回数3回以内）

【疫病防除】

ランマンフロアブル 1,000倍液

（収穫7日前まで、使用回数4回以内）

前記2剤を混用散布。

10月下旬

【アブラムシ】

テルスター水和剤 1,000倍液

（収穫3日前まで、使用回数4回以内）

【疫病】

フオリオゴールド 1,000倍液

（収穫7日前まで、使用回数3回以内）

前記2剤を混用散布。

※アオムシ・ヨトウムシの防除は定期的な観察を行い、早めの防除をお願いします。

防除例（追加防除）

【アオムシ・ヨトウムシ】

ベネビアOD 4,000倍液

（収穫7日前まで、使用回数3回以内）

またはディアナSC 2,500倍液

（収穫前日まで、使用回数2回以内）

・土寄せ…土寄せは馬鈴しょの緑化を防ぎ、肥大を促進する

ため、着蕾期終わりまで

には必ず行いましょう。

・ウイルス病、葉巻病の発生が確認された場合は、伝染を防ぐため、発生

株を抜き、圃場外へ出ししましょう。

たまねぎ

作付け・病害虫防除・管理について

※苗の植え付け時期は早生で11月上旬、晩生は11月中旬頃です。植え遅れしないように注意しましょう。植え付け後は苗の立枯病と、初期の病害虫・べと病に注意しましょう。

病害虫防除例

【苗立枯病】

オーソサイド水和剤 600倍液

（収穫前日まで、使用回数5回以内）

【べと病】

ダコニール 1,000倍液

（収穫7日前まで、使用回数6回以内）

【アザミウマ類】

スミチオン乳剤 1,000倍液

（収穫21日前まで、使用回数2回以内）

その他の野菜

秋の深まりとともに、種のまき時が終わる品種があります。まき遅れは生育不良につながり、生産量が減少します。種袋などの暦を確認し注意しましょう。温度が下がるにつれて害虫は減少していきますが、予防を心がけましょう。

ネキリムシ（カブラヤガ・タマヤナガ等）に注意！

ガの幼虫で、地中に潜み、夜間に植え付け直後の野菜苗や発芽した芽を食害し、切り倒す特徴があります。作付け前に薬剤の予防散布を行い、作付け後も観察し対策をしましょう。

防除例

【作付け前】

ダイアジノン粒剤5を土壌混和

4kg/10a（は種または定植時に1回）

【作付け後】

ガードベイトAを株元散布

3kg/10a（は種時から生育初期

まで、4回以内）

※害虫が食べる誘引殺虫剤です。散

布後に降雨があると薬剤が溶けだ

し、効果が落ちはじめるので、再

度株元に散布しましょう。散布回

数は作物により異なる場合があります。

登録作物を確認して散布し

ましょう。

へ生産工程管理日誌は必ず提出しま

しょう！

生産工程管理日誌は次期作の栽培

計画に利用できるほか、事故から生産

者・消費者を守る大事な記録です。農

薬使用は細心の注意を払い、正確な記

入・提出をお願いします。

野菜 問 営農経済課

TEL 0846-4513360

担当 久保勝義

果樹

11月

温州みかん

腐敗果を出さないためにも、腐敗

防止対策を必ず行いましょう。
収穫前には、次の対策を実施しま
しょう。

1. 腐敗防止剤を必ず散布する

散布時期

・ 早生温州 10月中旬～10月下旬

・ 普通温州 11月中旬～11月下旬

散布薬剤

ベルクトフロアブル 1,000×

2,000倍液

（収穫前日まで、使用回数3回以内）

ベンレート水和剤 4,000倍液

（収穫前日まで、使用回数4回以内）

の混用散布を実施しましょう。

※ベルクトフロアブルは散布後丸

一日間収穫できません。

その際、浮皮軽減・着色促進のため、

カルピタP770倍液を混用散

布しましょう。

また、普通温州は樹勢回復のため、

尿素200倍液を混用散布しま

しょう。

さらに、腐敗防止剤と収穫前ミカ

ンハダニ防除を同時に行う場合は、

オマイト水和剤750倍液を散布し

ましょう。ただし、

温州ミカン 収穫7日前まで

中晩柑類 収穫14日前まで

使用回数は2回までとなっています

ので、注意して散布しましょう。

2. 秋肥を施用する

まだ秋肥を施用されていない園地

では、遅くとも11月上旬までに施用
しましょう。特に隔年結果がひどく
今年全く成っていない園地ほど、隔
年結果は正のためにしっかりと基準量
を施用しましょう。

びわ

開花開始時期となり、令和9年度
夏の収穫を目指し、管理作業を徹底
しましょう。

1. 病害虫防除

年間の病害虫発生密度を少なくす

るためにも石灰硫黄合剤を散布しま

しょう。また、芯ぐされ（果実腐敗

病）の発生防止のためにも開花期の

殺菌剤散布を必ず実施しましょう。

散布時期

11月中旬～11月下旬

散布薬剤

石灰硫黄合剤100倍液を幹まで

掛かるように散布しましょう。

2. 摘房・摘蕾の実施

連年安定生産を目指し、枝数6

割程度で充実の良い果房を残しま

す（目安…2枝につき1花房残す

程度）。また副梢は小玉で生育が遅れ

やすいため、中心枝を残すようにしま

しょう。なお、寒害を受けやすい園地

では、副梢を2～3割程度多めに残し

ましょう。

摘蕾は摘房と同時進行で実施しま

すが、残した花房の下3段の花こ

を残して上部を除き、その中から大
きくて充実しているもの2段を残
し、1段は除くようにしましょう。

いちじく

収穫が終わり、樹体では落葉が始
まります。残果・落葉は病害虫の感
染源となるため、できるだけ園外に
持ち出して処分しましょう。

農薬使用の注意点

・ 使用者自身の安全のため、農薬の

製品ラベルに従った保護具を着用

しましょう。

・ 環境への安全のため、周辺住民

や農家に配慮し掲示板などで農薬

の使用を事前に伝え、農薬が飛散

してかからないように注意しま

しょう。

・ 作物の残留農薬が問題となっていま

すが、農薬の製品ラベルに従い、決

められた作物種、使用量、使用時

期、使用回数などを確実に守れば基

準値を超えることはありません。た

だし、農薬ごとに作物名が似ている

など、間違いやすいものがあります

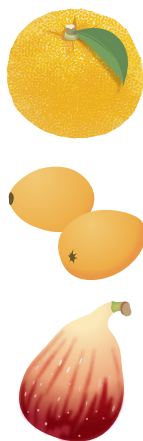
ので、慎重に注意して使用しまし

果樹 問 安芸津アグリセンター

TEL 0846-4510488

担当 JA広島果実連（株）

駐在技術員 鎌田 悠誠



10月の苗販売情報

JA安芸津アグリセンターでは、直売所などJA出荷者の支援として、128穴セルトレイでの野菜苗の生産・供給を行っています。数に限りがありますので、お早目にお問い合わせいただきぜひご利用ください。



128穴
セルトレイ



(商品例)
ブロッコリー苗

今月の供給品目

品目名	品種名	販売予定	収穫予定
キャベツ	春波・春空など	10月 下旬～	2月 中旬～
レタス類	サニーレタス・ ロメインレタスなど	10月 下旬～	1月 下旬～
ブロッコリー	エンデバー	10月 中旬～	3月 中旬～

※在庫・価格等詳細については随時お問い合わせください。
※特注品についても相談の上、対応致します。

自然に恵まれ「人と人との豊かな生活」がそこにある

JA

ふれあい市安芸津店

東広島市安芸津町風早647番地 8

ふれあい市は、『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』『地域の活性化』を基本目標とし、地産地消に取り組んでいます。



あなたとわたしの
ふれあい市

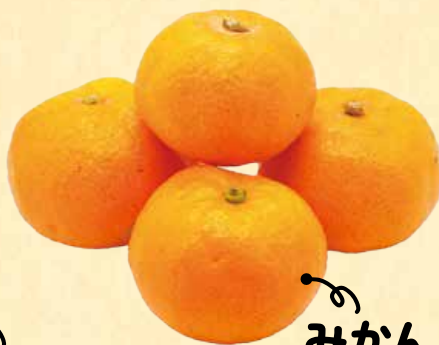


10月の
おすすめ

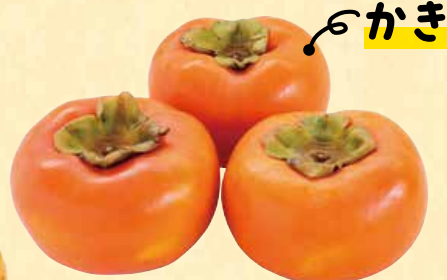
日に日に秋が深まり、過ごしやすい気候となってきました。
収穫の秋と言われるように、秋にはおいしい食材がたくさんあり、
食べる楽しみが大きい季節ですね。
ふれあい市から季節の情報をお届けします。



レモン



みかん



かき



さつまいも



さといも



くり

出荷会員募集中

自慢の農産物を出荷してみませんか？
興味のある方は下記の連絡先までお問い
合せてください。

☎0846-46-1166

ふれあい市安芸津店 担当：松本まで



※写真はイメージです。